

今週のメニュー

[トピックス](#)

今年も小学生向けの出前授業をスタート

- 全国の16校に、「エネルギーとCO2」の環境授業 -

[随想](#)

古代ヤマトの遠景(40) - 【前方後円墳】(1) -

信越化学工業(株) 木下 清隆

[編集後記](#)

トピックス

今年も小学生向けの出前授業をスタート

- 全国の16校に、「エネルギーとCO2」の環境授業 -

今年度も、9月から小学校への出前授業をスタートしています。昨年に引き続いて、3400校に、生徒用「かんきょうワークノート」と先生用の副読本「環境最前線」を配布し、環境に関する「出前授業」の案内をしたところ、東京、茨城、群馬、栃木、福島、山梨、大阪、岩手、北海道の各都府県の16校から希望が寄せられました。既に、福島県南相馬市、大阪府河内長野市、群馬県桐生市の3校の小学校に出前授業を行っています。

今年1月から3月に掛けて行った12校と合わせると、受講された延べ人数は、生徒数1148名、先生37名、保護者約40名に上ります。残りの13校を含めると、2300名の生徒に出前授業を行うことになり、これからの出会いも楽しみです。

河内長野市の小学校では、初めて3年生にも教えることになり、5 - 6年生用に準備した教材では理解できるか不安に思っていました。担任の先生方が熱心で、事前に生徒たちに理解の手助けを行っていたようで、活発な質問も出る楽しい授業になりました。こちら資料に使った円グラフの説明には、丸いデコレーションケーキを例に取って、その分け方から比率を理解するように工夫を行いました。また、生徒たちが出来るだけ興味を持って学べるように、写真や絵を多用し、身近なプラスチック製品の実物を触らせて授業を行いました。先生方の協力があれば、3年生にも教えることが出来ることが分かり、大きな成果になりました。

出前授業前後に校長先生とお話しをすると、多くの学校では地上デジタル対応、スクー



群馬県桐生市での出前授業

ルニューディールなどの設備面での課題や、秋の運動会や遠足などの行事を控えて新型コロナウイルスへの対応に苦労されている様子でした。

今回も先生役は、ベテランの木下と、少し先生役に目覚めた一色の二人が担当しています。また、担任の先生との日程調整や教材の準備・発送等を女性事務員が担当し、三人で連携して進めています。出前授業のテーマは昨年と同じ「エネルギーとCO2の話し」ですが、これまでの授業から得た情報を含めて教材を一部修正し、世界地図も塩ビ製の空気を入れて膨らます地球儀を使いました。折しも、鳩山首相がCO2の削減を国連で言及されたこともあり、関心が高いテーマになっています。エネルギー資源問題にも関連したテーマであり、身近な生活と社会のつながりについて、先生と生徒の皆さんが考える機会の提供に主眼を置いています。

今後も、社会貢献の一環として、小学校を初め、中学校、高校、大学向けの出前授業を続けて行きたいと思っています。テーマには、「プラスチックの基礎知識」、「エネルギー資源と地球温暖化問題」、「プラスチックとリサイクル」なども取り上げ、生徒たちのレベルに合わせた内容にしたいと考えています。是非、これからも、一期一会の「出前授業」を受けて見たいと思われる先生は、当協会にお申し出下さい。楽しみにお待ちしております。

連絡先：info@vec.gr.jp

随想

古代ヤマトの遠景（40） - 【前方後円墳】（1） -

信越化学工業（株） 木下 清隆

古代において、その地の首長の死後、遺体がどのように埋葬され、どのような墓が作られたのかは、必ずしも明確ではないが、弥生時代になると各地で方形や円形の墳丘墓が作られたようだ。これらの墓は一般には周りに溝がある「方形周溝墓」、或いは「円形周溝墓」となるが、この墓に通路が付けられるようになったことから、これが結果的に「前方後円墳」或いは「前方後方墳」に発展したと考えられている。

このような想定の中で、実際に前方後円墳が生まれたのは、弥生末期、円墳が多く作られた吉備地方とされており、ここでの墳丘墓の形態が大和の地で花開くことになる。その最大のものが「はしはか箸墓古墳」であるが、墳丘長は約280メートルもあり、卑弥呼の死亡時期が文献上248年前後と推定されることから、この墓は卑弥呼の墓ではないかと昔から想定する人が多かった。しかし、考古学による築造の推定時期と没年との間に20年前後のずれがあるため、それは想定の外を出ていなかった。ところが、その後の研究から、築造時期が徐々に卑弥呼の没年に近づき始めた。このため最近では卑弥呼の墓の可能性が高いとする説が力を持ち始めている。

< 箸墓古墳 >

箸墓古墳の名称の由来については、日本書紀に明確に述べられているので、以下にその内容を紹介しておこう。崇神天皇の十年条に以下のような物語が記載されているが、内容は、三輪山の神である大物主神と^{おおもものぬしのかみ}その妻となつた女性の話、即ち「^{しんこんたん}神婚譚」である。

やまとととびももそ

倭迹迹日百襲姫命は大物主神の妻となった。然し、神は夜だけしか現れないので、姫は「暫くここに留まってください。明日の朝あなたの美しい姿を見たい」と云った。神は「それは尤もである。明日の朝、あなたの櫛箱の中に居ることにする。私の姿を見て驚かないでほしい」と述べた。姫は夜の明けるのを待って櫛箱を見るとそこに美しい小蛇が居た。姫は驚いて悲鳴をあげた。大神は恥じて人の形になり「あなたは我慢できずに私に恥をかかせた。今度はあなたに恥をかかせよう」と述べ、大空を踏んで御諸山（三輪山）に登っていった。姫は仰ぎ見て悔い、どすんと座り込んだ。そのときに箆で陰を撞き死んだ。大市に神と人とで大きな墓を作りそこに姫を葬った。その墓を箆墓という。この墓は昼間は人々が造り、夜は神が造った。使用する石は大阪山（二上山の近くの山）から運んだが、人が列を作り手から手へ渡して運んだ。



箆墓古墳（手前）と三輪山

以上の神婚譚の中には、卑弥呼の名は何処にも出てこない。古事記・日本書紀ではこの女性の名前は、全く出さないというのが立前になっているようだ。理由は、記紀の原型となった帝紀・旧辞が書かれたとされる六世紀当時、三世紀の卑弥呼に関する如何なる伝承も残されていなかったことが考えられる。ところが、中国の魏志倭人伝には卑弥呼なる女性が、倭国の女王として存在していたことが記されている。恐らく倭王の系譜を整理していた関係者にとって、卑弥呼問題は大いに悩ましいものだったに違いない。そこで彼等が出した結論は、卑弥呼の名称は記録には残さないが、その存在についてはそれなりの配慮をするというものだったようだ。

箆墓被葬者問題の鍵は当然、「倭迹迹日百襲姫命」（以下、百襲姫）が握っているが、この女性が記紀に登場するのは、孝霊天皇と孝元天皇むすめの女としてである。記録は錯綜しているが、要するにこの時代の女性であると位置づけられていることになる。も少し説明すると、これらの天皇の前後は次のように続いている。

神武 孝霊 孝元 開化 崇神

これまで本稿では、第十代崇神天皇は初代倭王であり、卑弥呼・台与の後を継いだ倭王であるとしてきた。従ってこの視点に立つなら、孝霊・孝元時代の女性とされる百襲姫は初代倭王の前の時代の女性であることになり、ぴったりと卑弥呼に重なってくる。要するに百襲姫は卑弥呼に見立てられて三輪山の神婚譚に登場したことになる。このように考えると箆墓古墳は、卑弥呼の陵墓の可能性が相当に高いことになる。そのことを暗示するために、書紀の編纂者はわざわざ百襲姫を登場させたのかも知れない。

これまで古代学において、このような見解が出されていない理由としては、

- (1) 神武天皇から開化天皇までの九代は、加上された架空の天皇であるとの説が定説とはなっていない。
- (2) 崇神天皇が台与の後継倭王であるとの説は、未だ明確な形では提示されていない。

等が挙げられよう。これらの点を大胆に取り入れれば、文献学的な考察から以上のような結論を導き出すことが出来ると云うことである。今後、考古学的な立場から箸墓古墳が卑弥呼の墓であると結論されれば、結果的に以上の二点が古代学の定説になる可能性が出てくることになる。(つづく)

前回の「古代ヤマトの遠景」(39)【三角縁神獣鏡】(2)は、下記からご覧頂けます。

http://www.vec.gr.jp/mag/239/mag_239.pdf

編集後記

お彼岸も過ぎ、秋雨前線の影響で曇り勝ちな日が続いておりましたが、先週の日曜日は久しぶりの晴れ間となりました。清らかな秋空のもと、デジカメを片手に散歩に出かけました。いつもの散歩コースですが、いたるところに淡いピンクのコスモスが咲き乱れ、爽やかな陽射の中に秋の訪れを感じることが出来ました。かわいい秋の草花を見つけては横道にそって写真を撮っているうちに、いつもなら40～50分の散歩コースが2時間もかかってしまいました。何気なく咲いている道端の草花や畑に咲く秋茄子の花、普段はあまり気にも留めない野に咲く花が美しく見えるのも秋のせいでしょうか。(樹)



関連リンク

[メールマガジンバックナンバー](#)

[メールマガジン登録](#)

[メールマガジン解除](#)



編集責任者 事務局長 東 幸次

東京都中央区新川 1-4-1

TEL 03-3297-5601

FAX 03-3297-5783

URL <http://www.vec.gr.jp>

E-MAIL info@vec.gr.jp